



平成 29 年 第 1 号

平成 29 年 7 月 6 日

# おきたま つや姫だより

オールやまがた米づくり日本一運動置賜地域本部

## 圃場間のばらつき大きい！

## 穂肥診断により“食味重視”の穂肥を！

### 1. つや姫の生育状況（6月30日現在）

生育診断圃の状況は、指標と比べ、草丈は短いものの、茎数や葉数は指標並みまで回復してきました。葉色はやや濃い状況です。今年**は田植期以降低温傾向で経過したため、圃場間で生育のばらつきが大きく、特に茎数の差が大きくなっています。**

( )内は指標比・差

6月30日現在		草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)
つや姫	川西町	36.8(77%)	502(100%)	8.8(-0.5)	42.8(+2.8)
	飯豊町	39.9(83%)	532(106%)	9.9(+0.6)	46.9(+6.9)
	指標	48.0	500	9.3	40.0

### 2. 中干しを行っていないところは、直ちに中干し・作溝を行いましょ！

中干しは田面に小ヒビが入る程度を基本とします。生育量大きい場合や葉色が濃い場合は強めに行い、生育量小さい場合や葉色がさめかかっている場合は弱めに行いましょう。

## 出穂は平年並～2日程度遅い見込み

### 穂肥の目安 予想出穂期 8/11 (平年並) → 穂肥時期の目安 7/12

### 3. 全量出荷基準（玄米タンパク値）を達成するため、葉色、茎数を確認し、適正な追肥を徹底しましょう！

#### 10葉期の生育診断《裏面図を参照》

##### ① 適正域

【㎡あたり籾数が 600 本/㎡以下、葉色が 39 以下の場合】

→ 出穂 30 日前に **窒素成分 1.5 kg/10a**

##### ② 生育やや過剰・葉色やや濃い

【㎡あたり茎数が 600～650 本/㎡、または葉色が 39～41 の場合】

→ 出穂 30 日前に **窒素成分で 1.0 kg/10a 以下**

##### ③ 生育過剰・葉色濃い

【㎡あたり茎数が 650 本/㎡以上、または葉色が 41 以上の場合】

→ 出穂 25 日頃まで葉色が低下したら、窒素成分で 1.0 kg/10a 施用  
**葉色が低下しない場合は追肥を行わない。**

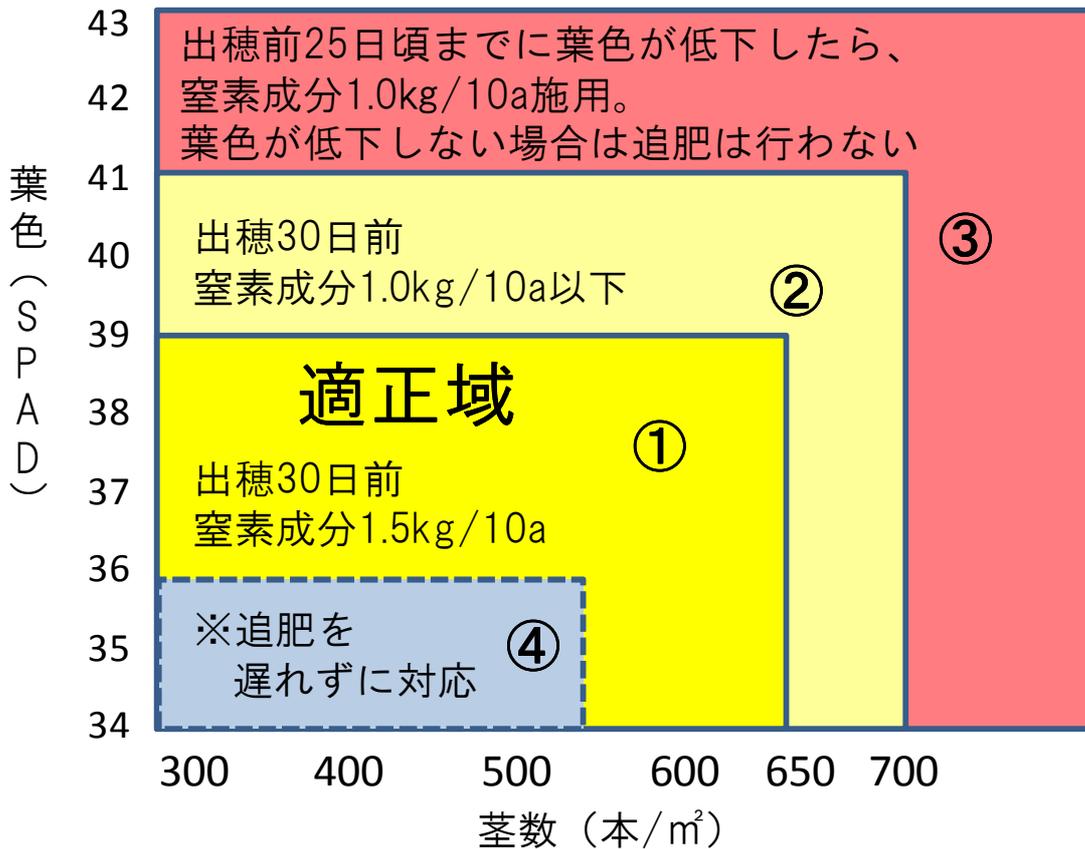
##### ④ 生育量小さい・葉色薄い

【㎡あたり茎数が 500 本/㎡以下、かつ葉色が 36 以下の場合】

→ 出穂 30 日前より**遅れずに窒素成分で 1.5 kg/10a 以下**

※追肥量を多くすると消化しきれずにタンパクが高まる！

## 【10葉期の生育診断】



**追肥時期が遅れると、玄米粗タンパク含有率は確実に高まり、食味が低下しやすくなります！**

### 4. いもち病・斑点米カメムシ対策は万全に！

- 6月下旬から発病に好適な気象条件となる日が出現しています。今年は「葉いもち」の発生に十分な注意が必要です。圃場をよく見回り、**早期発見、早期防除**を徹底しましょう。
- イネ科雑草が繁茂している**畦畔・農道等の草刈り**を地域ぐるみで徹底し、カメムシ類の生息密度低減に努めましょう。また、水田内のノビエやイヌホタルイなどの雑草は斑点米カメムシ類の水田侵入・増殖を促します。**水田内の残草処理も徹底**（※除草剤の使用時期を確認）しましょう。

**置賜全域で“アカスジカスミカメ”の発生が多い！  
今年もカメムシには要注意です！！**



## STOP! 農作業事故!

- ◎「もうちょっと…」という無理が重大事故につながります。
- ◎暑い日が続きます。熱中症予防のために水分補給と休息をしっかりと取りましょう！

山形県農薬危害防止運動実施中！～農薬を使用する際は使用基準を再確認！その都度記帳！～